

令和元年 11 月 5 日

瀬戸内市議会議長 日下 敏久 様

瀬戸内市議会議員 日下 敏久 ● 廣田 均 ●

小谷 和志 ● 竹原 幹 ●

日下 俊子 ● 岡 國太郎 ●

政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

期 間	令和元年 10 月 30 日 ～ 令和元年 10 月 31 日
研修会名	第 14 回全国市議会議長会研究フォーラム ～議会活性化のための船中八策～
開催場所	高知市 高知ぢばさんセンター
研修目的・ 内容	<p>多様化する社会構造の中、市政に対する民意の反映と集約が期待されている昨今、大きな課題である市議会活性化のための試論を論じ合うヒントを得るために参加した。</p> <p>基調講演は、中島岳志東京工業大学教授による「現代政治のマトリックス リベラル保守という可能性」と題する講演で、70 年代以降から現在までの日本政治の動向について座標軸に基づく解析が論じられた。二日間にわたるパネルディスカッションでは、論じられたテーマの中からコーディネーターの朝日新聞論説委員の坪井ゆづる氏により、以下の八策がまとめられた。</p> <p>1. 行政監視機能の活用徹底、2. 次世代を見据えた施策の視点、3. データを踏まえての議論の徹底、4. 多様性の確保、5. 地方自治法 96 条第 1 項及び第 2 項の再確認、6. 労働法制（立候補と同時に公務員の辞職等）の変革、7. 情報公開の徹底、8. 議員間討議の徹底</p>
所 感	<p>パネルディスカッションのパネラーである上越市議会議長、鎌倉市議会議長、周南市議会議長各氏からそれぞれの市議会での実践に裏打ちされた議会活性化、女性議員の確保、議会改革等への取り組みの発表は傾聴に値するものであった。当市においても、市政の二元性の一翼を担う議会として、執行部に対する監視機能の強化徹底を図ると同時に、市民に開かれた議会としてのさらなる情報公開の推進並びに議員間討議の徹底を図ることが、市政の活性化に寄与することを再認識させられた研修であった。</p>

